

## 衛生化学分野

### 論文

#### A 欧文

##### A-a

1. Uehara W, Yoshida S, Emaya Y, Fuchigami T, Haratake M, Nakayama M: Selenoprotein L-inspired nano-vesicular peroxidase mimics based on amphiphilic diselenides. : Colloids and Surfaces B: Biointerfaces 162 (2018) : 172-178, 2018 (IF:3.997 )
2. Hori E, Yoshida S, Fuchigami T, Haratake M, Nakayama M: Cardiac myoglobin participates in the metabolic pathway of selenium in rats. : Metallomics. 10(4) : 515-652, 2018 (IF: 4.069 )
3. Ishikawa N, Fuchigami T, Mizoguchi T, Yoshida S, Haratake M, Nakayama M: Synthesis and characterization of radioiodinated 3-phenethyl-2-indolinone derivatives for SPECT imaging of survivin in tumors. : Bioorganic & Medicinal Chemistry. 26(12) : 3111-3116, 2018 (IF:2.881 )
4. Fuchigami T, Fujimoto N, Haradahira T, Nojiri Y, Okauchi T, Maeda J, Suhara T, Yamamoto F, Nakayama M, Maeda M, Mukai T: Synthesis and characterization of 11 C-labeled benzyl amidine derivatives as PET radioligands for GluN2B subunit of the NMDA receptors. : J Labelled Comp Radiopharm.2018(61) : 1095-1105, 2018 (IF:1.423 )
5. Yoshida S, Iwataka M, Fuchigami T, Haratake M, Nakayama M: In vitro assessment of bioavailability of selenium from a processed Japanese anchovy, Niboshi. : Food Chemistry. 269 : 436-441, 2018 (IF:4.946 )
6. Iwataka M, Yoshida S, Koga K, Fuchigami T, Haratake M, Nakayama M: Separation of Selenium Species in Japanese Littleneck Clam 'Asari' (Ruditapes philippinarum) and In Vitro Assessment of Their Bioavailability. : BPB Reports. 1(2) : 40-46, 2018 (IF not determined)

### 学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
1	0	4	0	1	21

### 社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
中山守雄・教授	幹事	日本分析化学会九州支部
中山守雄・教授	金属の関与する生体関連反応シンポジウム評議員	日本薬学会
中山守雄・教授	薬剤師国家試験問題検討委員会衛生部会幹事	日本私立薬科大学協会
中山守雄・教授	「ウランの分析方法に係る検討」のための検討会委員長	放射線医学総合研究所
淵上剛志・准教授	Editorial board member	Journal of Oleo Science
淵上剛志・准教授	Editorial board member	Scientific Reports
淵上剛志・准教授	運営委員	放射性薬品科学研究会
吉田さくら・助教	環境審議会委員	長崎市

### 競争的資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
中山守雄・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究B 新規ジェネレータの特性に基づく多様な <sup>68</sup> Ga 薬剤の一元的製造システムの構築

中山守雄・教授	日本学術振興会	代表	挑戦的萌芽研究 Survivin を分子標的としたマルチモーダルイメージングプローブの開発
淵上剛志・ 准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究 C 膵臓がんの早期精密診断を目的としたナノボディ型分子プローブの開発
淵上剛志・ 准教授	日本学術振興会	代表	国際共同研究加速基金（国際共同研究強化） β-ヘアピンペプチドと Survivin 結合分子を融合した内用放射線治療薬剤の開発
淵上剛志・ 准教授	かなえ医薬振興財団	代表	平成 29 年度（第 46 回）かなえ医薬振興財団助成金 膵臓がんの早期診断を目的としたナノボディを母体とする分子プローブの開発
淵上剛志・ 准教授	テルモ生命科学芸術財団	代表	2018 年度 III.研究助成金 がん選択的セラノスティクスのための survivin 標的ナノ粒子の開発
淵上剛志・ 准教授	日本学術振興会	分担 (代表・ 早坂大輔)	基盤研究 B マウスモデルを用いたウイルス感染病態の分子イメージングダイナミクス解析
淵上剛志・ 准教授	放射線災害・医科学研究拠点	分担 (代表・ 西弘大)	共同利用・共同研究 90Y 標識内用放射線治療薬剤の開発 -放射線障害メカニズム解析と被ばく低減のための分子設計-
吉田さくら・ 助教	日本学術振興会	代表	若手研究 B 必須微量栄養素セレンの脳への移行および脳特異的保持メカニズムの解明

## 特 許

氏名・職	特 許 権 名 称	出願年月日	取得年月日	番号
中山守雄・教授 原武 衛 ・准教授 小野正博・助教	アミロイド関連疾患診断組成物	2004 年 11 月 26 日	2007 年 8 月 24 日	特許第 4000352 号
中山守雄・教授 原武 衛 ・准教授 小野正博・助教	アミロイド関連疾患診断組成物	2004 年 11 月 26 日	2007 年 8 月 24 日	特許第 4000353 号
中山守雄・教授 原武 衛 ・准教授 小野正博・助教	アミロイド関連疾患診断のための組成物	2007 年 5 月 22 日 (PCT 出願)	2011 年 1 月 7 日	メキシコ特許 282,602
中山守雄・教授 原武 衛 ・准教授 小野正博・助教	アミロイド関連疾患診断のための組成物	2007 年 5 月 22 日 (PCT 出願)	2011 年 7 月 20 日	中国特許 ZL20,078,002,637

中山守雄・教授 原武 衛・ 准教授	Ge 吸着剤	2007 年 3 月 2 日	2012 年 6 月 1 日	特許第 5005024 号
中山守雄・教授 原武 衛・ 准教授 淵上剛志・助教	$^{68}\text{Ge}$ - $^{68}\text{Ga}$ ジェネレータおよびこれを用いる $^{68}\text{Ga}$ 含有液の製造方法	2011 年 10 月 21 日	2016 年 12 月 9 日	特許第 6052681 号
中山守雄・教授 原武 衛・ 准教授 淵上剛志・助教	$^{68}\text{Ge}$ - $^{68}\text{Ga}$ ジェネレータ用の Ge 吸着剤	2012 年 10 月 19 日 (PCT 出願)	2016 年 8 月 16 日	カナダ特許 2,852,897
中山守雄・教授 原武 衛・ 准教授 淵上剛志・助教	$^{68}\text{Ge}$ - $^{68}\text{Ga}$ ジェネレータ用の Ge 吸着剤	2012 年 10 月 19 日 (PCT 出願)	2017 年 3 月 1 日	ドイツ特許 602,012,000,000
中山守雄・教授 原武 衛・ 准教授 淵上剛志・助教	$^{68}\text{Ge}$ - $^{68}\text{Ga}$ ジェネレータ用の Ge 吸着剤	2012 年 10 月 19 日 (PCT 出願)	2017 年 3 月 1 日	フランス特許 2,793,233
淵上剛志・ 准教授 中山守雄・教授 吉田さくら・ 助教 石川夏海・博士 後期課程 1 年	Survivin 標的ペプチド	2016 年 10 月 28 日 (出願未公開)		特願 2016-212199